

UFP-20 Ver. 1.08以前からVer. 1.09以降へのファームウェアアップデートに関して

[Ver. 1.09以降へのアップデート後の作業]

お客様が作成された設定ファイルの内容につきましては、ファームウェアアップデートを行っても書き換えられることはありません。

このため、誤ったセンサパラメータがそのまま設定ファイルに残ってしまう場合がありますので、ファームウェアアップデート後には以下の1. または2. の作業を行ってセンサパラメータを再度読み込ませてください。

なお、今回のアップデートで修正の対象となっているのは、初期値の中形センサUP10ASTデータを使用した場合に起こる不具合です。「かんたんセットアップ」を使用して設定ファイルを作成している場合や、中形センサ UP10AST以外を選択して設定ファイルを作成している場合は以下の作業を行う必要はありません。

1. 「かんたんセットアップ」を利用して設定ファイルを再度作成します。
又は
2. センサ種類を設定し直します。
 1. 3:<個別設定>→3:<センサ設定>→1:種類に移動します。
 2. 中形 UP10AST以外を選択し、決定ボタンを押します。
 3. 再度中形 UP10ASTを選択し、決定ボタンを押します。

以上の作業を行うことによって正しいセンサパラメータの設定ファイルを作成することができます。

なお、Ver. 1.08以前のバージョンでも上記の作業を行うことで不具合を修正すること可能ですが、新規に中形センサUP10ASTを使用するファイルを作成する場合には、上記1. または2. 則った手順で行う必要があります。